

アカデミックスキル

科目責任者 矢澤卓也
学年・学期 1学年・1学期

一
学
年

I. 前文

大学で主体的・積極的に学ぶために必要な技法（アカデミックスキル）について学修する。大学生としての授業への取り組み方や社会人としての態度、作法について学修する。また学術的な文章を作成し表現するための基礎的な知識に加え、論理的に考える方法について学修する。

II. 担当教員

教授	矢澤卓也（病理学）
教授	小西美樹（小児看護学）
准教授	小嶋英史（研究連携・支援センター）
准教授	馬籠信之（基盤教育部門）
准教授	阿部渉（基盤教育部門）
准教授	村山晴夫（健康スポーツ科学）
准教授	江原鮎香（解剖学）
准教授	杉本智恵（先端医科学研究センター）
准教授	飯塚秀樹（語学・人文教育部門）
学内准教授	山下真幸（情報基盤センター）
学内准教授	奥田竜也（基盤教育部門）
学内准教授	能登慶和（語学・人文教育部門）
学内准教授	川瀬撰（基盤教育部門）
講師	松岡佐知（国際交流支援室）
講師	矢澤華子（病理学）
講師	梅澤規子（基盤教育部門）
講師	廣田美玲（語学・人文教育部門）
講師	藤森俊明（基盤教育部門）
講師	野畑友恵（基盤教育部門）
学内講師	小笠原健（基盤教育部門）
学内講師	枝伸彦（健康スポーツ科学）
学内講師	石川知弘（微生物学）
学内講師	布矢純一（微生物学）
助教	柏木維人（病理学）
助教	石井順（病理学）
助教	東覚（薬理学）
助教	佐藤元康（生化学）
助教	佐藤洋隆（微生物学）
助教	今弘枝（実験動物センター）
助教	高山英士（公衆衛生学）

他、看護学部教員

外部講師

Ⅲ. 一般学習目標

大学生として主体的、積極的に学ぶために必要な技法について理解する。

Ⅳ. 学修の到達目標

1. 学問の重要性を理解し、獨協医科大学医学部で学ぶことの意味を理解できる。
2. 大学生としてのアカデミックスキルとキャンパスマナーを実践できる。
3. 大学での学修と自分自身の将来像との関連性を説明できる。

Ⅴ. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

(1：反転授業の要素を含む授業（知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)

2：ディスカッション, デイバート 3：グループワーク 4：実習, フィールドワーク 5：プレゼンテーション

6：その他)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
1	4	11	木	1	[講義・演習]ガイダンス 学びの本質を理解し、何のために大学で学ぶのかを考える	小西美樹 西連地純子 石川智也 木村智美 戸沢寿徳 阿蘇美緒 井上美卓 矢澤卓也	1,2,3,5
2		11	木	2	[講義・演習]ガイダンス 学びの本質を理解し 何のために大学で学ぶのかを考える	小西美樹 西連地純子 石川智也 木村智美 戸沢寿徳 阿蘇美緒 井上美卓 矢澤卓也	1,2,3,5
3		11	木	3	[講義・演習]医療従事者に必要な健康と生活の管理	小西美樹 西連地純子 石川智也 木村智美 戸沢寿徳 阿蘇美緒 井上美卓 矢澤卓也	1,2,3,5
4		12	金	1	[演習]コミュニケーションスキル	奥田竜也 阿部渉 川瀬撰 小笠原健 石川純子 戸沢智也 木村由美 西連地利 小西美樹	1,2,3,5
5		12	金	2	[演習]コミュニケーションスキル	奥田竜也 阿部渉 川瀬撰 小笠原健 石川純子 戸沢智也 木村由美 西連地利 小西美樹	1,2,3,5

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
6	4	12	金	3	[演習]医療現場の接遇	外 部 講 師	2
7		15	月	1	[講義・演習]キャンパスマナー	奥 田 竜 也	1,2,3,5
8		15	月	2	[講義・演習]キャンパスマナー	奥 田 竜 也	1,2,3,5
9		15	月	3	[講義・演習]獨協学園の歴史	内 田 幸 介	1,2,3,5
10		22	月	1	[講義・演習]情報収集・整理の技術	看護学部教員	1,2,3,5
11		22	月	2	[講義・演習]情報収集・整理の技術	看護学部教員	1,2,3,5
12		22	月	3	[講義]ディスカッションのしかた	医 学 部 教 員	1
13	5	13	月	1	[演習]ディスカッション演習<ゼミ> 9:00-10:30	医 学 部 教 員 看護学部教員	1
14		13	月	2	[演習]ディスカッション演習<ゼミ>	医 学 部 教 員 看護学部教員	1
15		13	月	3	[講義]プレゼンテーションのしかた	医 学 部 教 員	1
16		22	水	6-7	[演習]プレゼンテーション演習<ゼミ> 16:20-17:50	医学部教員, 看護学部教員	1,2,3,5
17		29	水	6-7	[講義]レポートの書き方	医 学 部 教 員	1,2,3,5
18	6	5	水	6-7	[演習]レポート演習<ゼミ> 16:20-17:50	医 学 部 教 員 看護学部教員 小 西 美 樹	1,2,3,5

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

成果物（レポート、プレゼンテーション資料、議事録）の評価40%、ゼミ演習の参加度30%、リフレクション（本日の講義を踏まえて考えたことや新たな疑問を記述したもの）の提出30%とする。

VII. 教科書・参考書・AV資料

- 1) 名古屋大学高等教育研究センター, ティップス先生からの7つの提案 学生編 (<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seven/student/indeX.html>)
- 2) 小野田博一. 13歳からの論理ノート「考える」ための55のレッスン. PHP研究所。
- 3) 世界思想社編集部. 大学生 学びのハンドブック 5訂版. 世界思想社。
- 4) 佐藤 望, 他. アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門. 第3版. 慶應義塾大学出版会。
- 5) 向後千春. 18歳からの「大人の学び」基礎講座. 北大路書房。
- 6) 鈴木克明, 美馬のゆり. 学習設計マニュアル「大人」になるためのインストラクショナルデザイン. 北大路書房。

VII. 質問への対応方法

随時、質問を受ける。授業に関する内容については、クラス全体にフィードバックする。

矢澤 卓也: tk yazawa@dokkyomed.ac.jp オフィスアワー 水曜12:00~13:00

小西 美樹: konimiki@dokkyomed.ac.jp オフィスアワー 水曜12:00~13:00

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置くDP ○：重点を置くDP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	◎
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	◎
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	◎
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	◎
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

- ・講義資料は事前にLMSに掲載し、学生の学修状況を確認する。
- ・演習時は、与えられた課題に基づいて小グループでディスカッションを行い、各々の意見を交換し合う。
- ・LMS等を用いて学生の理解度を確認し、講義内で補足説明する。
- ・講義内で実施した課題やLMSに挙げられた質問については、講義内やLMSで回答・解説する。
- ・成績評価の結果は、「授業評価の回答および成績評価の講評」に記載しフィードバックする。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

事前学修：事前に配布される講義資料に目を通し、発表の準備を行う、あるいはレポートを作成する（30-60分）。

事後学修：リフレクション（本日の講義を踏まえて考えたことや新たな疑問を記述したもの）、あるいは修正したレポート/プレゼンテーション資料をLMSにて提出する（30-60分）。

XII. コアカリ記号・番号

PR-01-01, PR-01-02, PR-02-01, PR-02-02, PR-02-03, PR-03-01, PR-04-01,

LL-01-01, LL-01-02, LL-02-01, IT-01-01, IT-01-02, IT-02-01, IT-02-02,

IT-03-01, IT-03-02, IP-01-01, IP-01-02, IP-01-03, IP-02-01, IP-02-02, IP-02-03,
IP-02-04